

## 採点基準 英語

1

問2 (8点)

【設問】 下線部(1)を日本語に訳しなさい。

【下線部(2)】

(1) a famous architect said that a bedroom used for anything other than sleeping was immoral

【解答例】

有名な建築家が、どんなことであれ、睡眠以外のことに寝室を使うのは不道德だと述べた。

【基準】

- ・次の区分に分けて採点する。
- ・減点範囲は下記区分を超えないものとする。
- ・下記に言及されていない文法・構文レベルの誤訳は**マイナス2点**。
- ・下記に言及されていない単語レベルの誤訳・訳抜けは**マイナス1点**。

区分	配点	備考
a famous architect said that	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ that 節が said の目的語になっていないものは (-2)</li> <li>・ famous 「人気のある」 (-1)</li> <li>・ architect 「アーキテクト」 (-1)</li> <li>・ said 「言った, 述べた」</li> <li>※明らかに過去形にそぐわない訳は (-1)</li> </ul>
a bedroom used (...was...)	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ used が a bedroom を修飾する過去分詞と理解していないものは (-2)。</li> <li>・ 上記を含み that 節内の構造を理解していないものはここで (-2)。</li> <li>・ bedroom 「寝室, ベッドルーム」</li> </ul>
for (anything) other than sleeping	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ for anything 「何であれ, 何かに」</li> <li>・ other than 「以外に」 の誤訳・構造把握ミスは (-2)。</li> <li>・ sleeping 「眠ること, 寝ること, 睡眠」</li> </ul>
was immoral	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ immoral 「不道德な, モラルに反する」</li> <li>※ 「インモラルな」 (-1)</li> <li>・ ここが that 節内の述部と理解していない場合は2区分目で (-2)</li> </ul>

問 4 (4 点×3 順不同)

【設問】 19 世紀から現在まで寝室はさまざまな空間へと変化してきた。その変化の根本的な原因を本文から探し、3 点挙げて、日本語で簡潔に述べなさい (順不同)。

【解答参考箇所】

- ・ 第 5 段落第 2 文

A major force causing this was rapid urbanization during the Industrial Revolution.

- ・ 第 5 段落第 4 文

Another reason for the change was religion.

- ・ 第 6 段落第 2 文 (第 3 文)

Portable technology, however, has moved slowly under our covers. A survey found that 80% of teens brought their mobile devices into their bedrooms at night; nearly one-third slept with them nearby.

【解答例】

- ・ 産業革命で急速な都市化が起こったこと。(4 点)
- ・ キリスト教福音派の信仰が広まったこと。(4 点)
- ・ 携帯機器の技術が進化したこと。(4 点)

【基準】

- ・ 次の①～③の 3 つの要素に分けて採点する。
- ・ 語彙の誤訳は原則一律 (-2 または -4, 各要素参照)。ただし、判断がつきにくいものは採点者裁量で (-1) も可。

要素 ①

区分	配点	備考
urbanization	2	・ カタカナ訳不可 (-2)。
the Industrial Revolution	2	・ カタカナ訳不可 (-2)。 ・ Industrial 訳抜け不可 (-2)。

要素 ②

区分	配点	備考
religion	4	・ カタカナ訳不可 (-4)。 ・ 「宗教, キリスト教, 福音派, キリスト教福音派」 「宗教が『なくなったこと』」など明らかに宗教の存在を否定している場合は (-2)

要素 ③

区分	配点	備考
portable	2	
technology	2	・ 「テクノロジー, 技術」 明らかに携帯技術の存在を否定している場合は (-2)

問3 (10点)

【設問】 下線部(2)が表す内容を、80字以内の日本語で簡潔に述べなさい。

【下線部(2)および解答参考箇所】

And still, the human heritage that gave us toolmaking hands and inquisitive brains did not die. In every human culture, the hand and brain work together to create the style that makes a civilization. In every civilization, the skilled artificer has an honored place next to other honored, intellectual professionals. (2) Our own civilization is no exception.

【解答例】

文明は物作りをする手と好奇心旺盛な脳によって生み出されるもので、現代文明においても、手たる熟練した職人は、脳たる専門家と並び尊敬される対象であるということ。(78字)

【基準】

- ・80字を1字でも超えたものは得点を与えない(-10点)。ただし、最後のマスや欄外に句読点や読点が入っているものは、80字の解答とみなして通常通り採点する。
- ・以下の内容に点を与え、欠如している場合はその区分をゼロとする。
- ・減点範囲は下記区分を超えないものとする。

内容	配点	備考
① ...toolmaking hands and inquisitive brains...the hand and brain work together to create the style that makes a civilization	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ hands 「手」の誤訳は(-1)</li> <li>・ brains 「脳」の誤訳は(-1)</li> <li>・ civilization 「文明」の誤訳は(-1)</li> <li>・ 文明が手と脳で成立しているニュアンスがないものは(-1)</li> </ul>
② the skilled artificer has an honored place next to other honored, intellectual professionals	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ この関係に触れられていない、または誤っている場合は(-6)。</li> <li>・ artificer = hands (職人=手), professionals = brains (専門家=脳) という対等関係を間違えて捉えている解答は、それぞれの対等関係に対して(-2)ずつ減点。(計-4)</li> <li>・ artificer 「職人, 熟練工, 機械工」 ※カタカナ書き, 「メカニック, ブラックスミス」は不可(-1)</li> <li>・ honored の訳出に難があると採点者が認める場合は(-1)</li> <li>・ professionals 「専門家」の誤訳は(-1)</li> </ul>

問 4 (10 点)

【設問】 下線部(3)を日本語に訳しなさい。

【下線部(3)】

(3)The early years of the century were the golden age of radio and of flying machines, when inventors could build with their own hands machines that would change the world.

【解答例】

20 世紀初頭は、無線と航空機の黄金期で、発明者は世界を変える機械を自分の手で作ることが可能であった。

【基準】

- ・次の区分に分けて採点する。
- ・減点範囲は下記区分を超えないものとする。
- ・下記に言及されていない文法・構文レベルの誤訳は**マイナス 1 点**。
- ・下記に言及されていない単語レベルの誤訳・訳抜けは**マイナス 1 点**。

区分	配点	備考
The early years of the century	1	・ early years 「初頭, はじめ, 早い時期」 抜けは (-1) ・ the century 「20 世紀, その世紀」 ※the 「その, 20」 抜けは (-1)。
were the golden age	1	・ were 「だった」 時制が著しく不自然な場合は (-1)。 ・ golden age 「黄金時代, 最盛期」 ※「金の時代, ゴールデンエイジ, 熟年期」は (-1)
of radio	1	・ of radio が golden age の修飾と理解していないものは (-1) ・ radio 「無線」
and of flying machines	1	・ and of ~が golden age の修飾と理解していないものは (-1) ・ flying machines 「航空機, 飛行機」 ※カタカナ表記不可 (-1)
when	1	・ 関係副詞と明らかに理解していないものは (-1)
inventors	1	・ inventors 「発明家, 考案者」
could build ... machines	1	・ machines が build の目的語と理解できていないものは (-1)。 ・ could 訳抜け (-1) ・ machine 「機械」 ※カタカナ表記不可 (-1)。
with their own hands	1	・ with 「~を使って, で, によって」 ※「一緒に」は (-1)。 ・ their own 「自分 (自身) の, 自らの」 ※完全な訳抜けは (-1)。
that	1	machines が先行詞の関係代名詞と明らかに理解していないものは (-1)。
would change the world	1	

3

Question A (5点)

Complete the following sentences with reference to the first paragraph.

The author illustrates how \_\_\_\_\_ to see robots or robot arms in factories. While the majority of them are installed on the floor or can move on wheels, a pair of robots in the factory of an automaker in Detroit are walking around freely \_\_\_\_\_ like animals.

【解答参考箇所】

Putting robots into factories is hardly a new idea — larger ones are already at work in plants around the world. However, most of these are merely giant arms, bolted firmly to the ground, and the few with the mobility to manage tasks like carrying parts from one place to another move around the factories on wheels. To our surprise, the new devices at this plant are rather different sorts of beasts. They have four legs and can walk.

【解答例】

(1) (3点) common[normal, usual] it is

(2) (2点) on (four) legs

( )は省略可, [ ]は言い換え可

【基準】

(1) 3点

- ・ is it の語順になっているものは-1
- ・ it is が抜けているものは-1

(2) 2点

- ・ four 抜け許容, ただし, 数が4以外の場合は-1
- ・ legs が単数になっている場合は-1

Question B (10 点)

Complete the following sentences with reference to the second and third paragraphs.

Walking robots can watch all the areas in the factory and calculate the efficiency of the factory equipment because they \_\_\_\_\_ climbing up stairs and getting to places less accessible to humans. This \_\_\_\_\_ reduction.

【解答参考箇所】

(1) Ford reckons that these four-legged robots, which can both climb stairs and crawl into hard-to-reach areas, will cut the time required by half and complete the job for “a fraction of the cost.

(2)

- The pair are not there to amuse the factory’s human workers, though, but rather to perform an important task that Ford hopes will save it a ton of money.
- Ford reckons that these four-legged robots, which can both climb stairs and crawl into hard-to-reach areas, will cut the time required by half and complete the job for “a fraction of the cost.

【解答例】

(1) (3 点) have no difficulty[are capable of]

(2) (7 点) makes a (significant) contribution[leads] to time and cost

( )は省略可, [ ]は言い換え可

【基準】

(1) 4 点

- 動詞が抜けており, 文が成立していないものは - 4 点。  
※can だけが入っている場合も - 4 点。
- 動名詞が続かない表現を用いた場合は - 2。

(2) 6 点

- 動詞が抜けており, 文が成立していないものは - 4 点。  
※動詞はあるものの, reduction につながる形になっていないものは文法ミスで (-2)
- time について言及していないものは (-2)。  
※times としたものは文法ミスで (-2)
- cost について言及していないものは (-2)。  
※costs としたものは文法ミスで (-2)

<文法の基準>

- 文法ミスは 1 箇所につき - 2 点とする。
- ※主語・動詞の agreement 不備は - 2 点。

Question C (20 点)

Would you like to live in a society where robots are widely available in the workplace? Write a 70-100 word paragraph to explain your position, providing at least two reasons to support your opinion.

【解答例 1】※解答例 2 は解答解説参照

I would like to live in a society where robots are widely used in the workplace. First of all, such a society would never face labor shortages. People would not need to worry about an aging population or low birth rate. Moreover, if robots took over all dangerous or laborious work, the number of work-related accidents would decrease. Humans could focus on the things only humans can do, which would lead to higher job satisfaction and well-being. (77 words)

(ロボットが職場で広く使われている社会に住みたい。第一に、そのような社会は決して労働力不足に直面することがない。人口の高齢化や少子化を心配する必要がない。さらには、ロボットが危険な作業や面倒な作業をすべて引き受ければ、労働災害が減るだろう。人間は、人間にしかできないことに集中でき、より高い仕事満足度と幸福につながるだろう。)

【基準】

① 本文と完全一致する sentence がまるまる 1 文含まれるものは -20 点。

② 内容面

- ・ 70~100 語の指定を明らかに逸脱している答案 (= 50 語以下/120 語以上) は 0 点。
- ・ 題意に全く沿わないもの (「ロボットが広く職場に普及している社会に住みたいか」に対する解答になっていないもの) は -20 点。
- ・ 立場を明示していないものは -10 点。
- ・ 理由が 1 つも挙げられていないものは -10 点。
- ・ 明らかに常識に反する, または根拠に乏しいと採点者が判断する理由は, 1 箇所につき -2 点 (複数ある場合はそのつど減点)。
- ・ 文と文が明らかに論理的につながっていないと採点者が判断するものは, 1 箇所につき -2 点 (複数ある場合はそのつど減点)。

③ 文法・形式面

- ・ スペリングミスは 1 語につき -1 点とする。
- ・ 文法ミスは 1 箇所につき -1 点とする。

※主語・動詞の agreement 不備は -1 点。